

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/8 )

学部・学科	臨床心理学部・臨床心理学科	職名	教授	氏名	中 村 博 幸
学歴	昭和43年 3月 静岡大学文理学部理学科卒業				
学位					
専門分野	教育工学、メディア教育、教育社会学、情報学（情報社会、情報倫理） 大学基礎教育				
専門資格					
所属学会	昭和55年 8月 日本視聴覚教育学会（現：日本教育メディア学会） 昭和55年 9月 電子情報通信学会 昭和58年 6月 日本教育社会学会 昭和59年10月 日本教育工学会 昭和63年 5月 全日本博物館学会 平成元年 5月 日本展示学会 平成10年 1月 大学教育学会 平成11年 2月 ヒューマンインタフェース学会 平成20年 3月 初年次教育学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 情報社会論、教職概論、教育社会学、教職実践演習、博物館情報・メディア論、プロジェクト科目「自己形成-社会人基礎力をみがくクラス」、プロジェクト科目「指導とリーダーシップクラス」				
論文指導	該当なし				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	教育社会学	講義・演習・実習・実験	春・秋	36名	
	授業の概要：教育社会学は、学校の社会学や社会の教育問題を取り扱い、社会との関係が重要である。最近、学力低下が話題になるが、実際は二極分化であり、上位層の現状維持に対し、下位層の低下が大きい。さらにそれは児童・生徒のやる気や学校に対する意識と関係が深い。その事をふまえて、解消の為に学校や教育ができる事の可能性や限界についても考える。				
	教育活動の振り返り 教育活動の成果： 教育格差や学校を取り巻く諸問題について、メディアの報道などではわからない実態や原因が考えられたなどのコメントがあった。 今後の課題： 社会階層の問題は、短絡的に人権問題や差別と勘違いされる可能性があるもので、ゆっくりと時間をかけて授業を行う必要がある。しかし、その為に授業の時間がかなり割かれるので、工夫が必要である。				
・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 ○ 講師等として参加 平成26年 9月 5日 初年次教育学会第7回大会 ワークショップ「初年次教育の質を高める教員協働を考える」、於：帝塚山大学 平成26年12月 5日 第12回高大連携教育フォーラム（京都高大連携協議会） 「高大接続と学力形成」全体企画運営及び基調報告、於：キャンパスプラザ京都 平成27年 2月23日 玉川大学「大学FD・SD研修会」 ワークショップ「アクティブ・ラーニングの組み込み方」講師 平成27年 3月15日 河合塾FDセミナー「明日から使える学修評価シートづくり」 企画運営及びファシリテータ、於：京都大学					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/8)

<p style="text-align: center;">F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績(つづき)</p> <p>○九州FDグループ(九州国際大学他)の研修への参加</p> <p>平成26年8月26・27日 「課題解決力育成オフキャンパス合同合宿研修」(九州産業界GP 学修評価サブグループ) 於:日本文理大学湯布院研修所</p> <p>平成27年3月7日~9日 「リテラシー育成 湯布院オフキャンパス合同合宿研修」(九州・沖縄・山口産業界GP 学修評価サブグループ) 於:日本文理大学湯布院研修所</p> <p>○その他</p> <p>平成26年11月27日 「ループリック評価入門」(大阪大学 FDセミナー) 於:大阪大学吹田キャンパス</p> <hr/> <p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <p>○現場実践教育科目関係</p> <p>・「プロジェクト科目合同成果発表会」の運営する学生グループのアドバイザーとして活動した。</p> <p>・S・Aの研修及びそれを企画学生グループ(S・S・A)の直接・間接の指導を行った。</p>
<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 大学初年次教育と文章表現(継続)</p> <p>2. ジュネリック・スキルとキャリア教育(継続)</p> <p>3. 大学教育の視点から本学の教育を考える(人間学研究所プロジェクト)(継続)</p> <p>4. 大学教育におけるS・Aのあり方</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">平成二 十六 (2014) 年度の 研究活 動の概 要</p>	<p>1については、引き続き「文章表現」研究グループ(文章表現デザイン塾)を運営しながら、初年次教育学会におけるワークショップや、河合塾FDセミナーを運営した。また『大学生の日本語リテラシーをいかに高めるか』(ひつじ書房)が刊行された。 後述:(著書)</p> <p>2については、京都府教育委員会の高等学校キャリア教育の企画メンバーを努めながら、本研究テーマに則した講演を行った。 後述:(社会における活動)</p> <p>3については、3月の本学のFD研修会「授業と評価をつなぐ為に」を共同開催した。学修評価については様々な考え方があるが、カリキュラムマップ・シラバス等の関係から、ループリック評価がよいと思われる。しかしループリック評価にも様々な考え方(論議)があるので整理を行った。</p> <p>4については、本学のS・A制度をベースに、研修の流れを考え、S・A学生が自主的に学ぶシステムを開発して、学会で報告した。 後述:(学会報告、学会活動)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">平成二 十六 (2014) 年度の 主な研 究成果 等</p>	<p>(著書)</p> <p>1. 「第1部第1章 変化する情報社会に求められる人材と「日本語リテラシー」・「アイデアの「拡散・収束」と「読む・聞く・書く・話す」をつなげる 京都文教大学の事例」、共編著(当該章執筆) 平成26年12月、ひつじ書房、『大学生の日本語リテラシーをいかに高めるか』(pp.3-14, pp.51-62)</p> <hr/> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <p>学会報告:</p> <p>1. 「PBL型演習科目におけるS・A研修」、単独、平成26年9月、初年次教育学会第7回大会、帝塚山大学</p> <p>学会活動:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本視聴覚・放送教育学会(現:日本教育メディア学会)誌編集委員「平9.10より」</li> <li>・初年次教育学会理事「平21.4より」</li> <li>・大学教育学会誌常任編集委員「平21.9より」</li> </ul> <hr/> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>コーディネータ:</p> <p>1. 「教職課程と小学校・中学校との連携」、平26年5月、全国私立大学教職課程研究連絡協議会第34回研究大会 第9分科会、帝京平成大学</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/8)

平成二十六年(2014)年度の主な研究成果等	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)</p> <p>その他：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワークショップ「初年次教育の質を高める教員協働を考える」、平成26年9月、初年次教育学会第7回大会、帝塚山大学</li> <li>2. 「明日から使える学修評価シートづくり」ファシリテータ、平成27年3月、河合塾FDセミナー、京都大学</li> </ol> <p>(調査活動)</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成26年度-平成29年度</p> <p>科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金(基盤研究C)「生きる力を育成する文章表現科目のプログラム評価と授業改善ツールの開発」(課題番号:26381108, 研究代表者:九州国際大学・法学部・教授 山本啓一)研究分担者</p> <p>(学内活動)</p> <p>教職課程委員会委員長、産学協働教育推進委員会委員長、共通教育委員会委員、高大連携委員会委員</p>
平成二十六年(2014)年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇治市立北宇治中学校評議員「平19.4より」</li> <li>・ 枚方市立第四中学校評議員「平19.6より」</li> <li>・ 京都市立紫野高等学校評議員「平21.4より」</li> <li>・ 京都府キャリア教育サポーター「平21.4より」</li> <li>・ 大学コンソーシアム京都 高大連携推進室委員「平23.4より」</li> </ul> <p>平成26年 7月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成26年度夏期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(中等教育)」、於:京都文教大学</li> <li>2. 平成26年度夏期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(初等教育)」、於:京都文教大学</li> </ol> <p>平成26年10月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成26年度秋期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(中等教育)」、於:京都文教大学</li> <li>2. 平成26年度秋期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(初等教育)」、於:京都文教大学</li> </ol> <p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成26年10月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 京都府キャリア教育サポーター、於:京都府立東稜高等学校 講演「将来の自分と進路」(対象:生徒) 講演「社会における基礎力とキャリア教育」(対象:教員)</li> <li>2. 京都府私立中高連合会 メディアと教育分科会、講演「授業のしかけとしてのメディア」、於:華頂女子中学・高等学校</li> <li>3. 京都府キャリア教育サポーター、講演「将来の自分と進路」(対象:生徒) 於:京都府立田辺高等学校</li> </ol> <p>平成26年11月 京都府キャリア教育サポーター、講演「社会人基礎力とは何か」(対象:保護者) 於:京都府立田辺高等学校</p> <p>平成27年 1月 京都府キャリア教育サポーター、講演「将来の自分と進路」(対象:生徒) 於:京都府立海洋高等学校</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都私立中高メディアと教育研究会顧問「昭54.4より」</li> <li>・ 京都市立高等学校視聴覚教育研究会顧問「昭61.4より」</li> <li>・ 京都高大連携研究協議会・情報発信交流検討部会委員「平21.4より」</li> </ul>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/8)

平成二十六年(2014)年度の 社会における活動	(その他 つづき) ・ 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 教員養成制度検討委員会委員「平23.6より」 ・ 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 会計監査「平24.5～平26.5」 ・ 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 教員養成制度検討委員会「私立大学の特色ある教職課程事例集」編集委員「平26」 ・ 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 調査委員会委員「平26.11より」
平成二十一年～二十五 (2009～2013)年度の 主な研究成果等	(著書) (論文) 1. 「"学生のマナー"を教育の目標として考える 学生が自立・成長する為の学習サポート」、単著、大学と学生 平成22年10月号 (pp.19-26) 2. 「保育者 保護者間のコミュニケーションの改善をめざした研究」、共同、平成23年3月、京都文教短期大学研究紀要第49集 (pp.116-128) 3. 「芸術大学系大学における初年次教育の取り組み(3)」、共著、平成23年3月、京都市立芸術大学芸術学部研究紀要54号 (pp.51-57) 4. 「T・A、S・Aとして授業をサポートする」、単著、平成23年5月、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会会報第30号 (pp.28-32) 5. 「京都文教大学における共通教育の15年」、単著、平成23年5月、大学教育学会誌第33巻1号 (pp.81-85) 6. 「保育者 保護者間のコミュニケーションの改善をめざした研究(2)」、共著、平成24年3月、京都文教短期大学研究紀要第50集 (pp.136-146) 7. 「芸術系大学における初年次教育の取り組み(4)」、共著、平成24年3月、京都市立芸術大学研究紀要第56号 (pp.83-90) 8. 「芸術系大学における初年次教育の取り組み(5) --学生によるカリキュラムマップ作成の試み--」、共著、平成25年3月、京都市立芸術大学研究紀要第57号 (pp.63-67) (学会報告、学会活動) 学会報告： 1. 「高大連携教育における授業実践のあり方(1) 教科を越えた授業「自己表現力セミナー」におけるコーディネイト教員の役割」、共同、平成21年6月、大学教育学会第31回大会、首都大学東京 2. 「高大連携教育における授業実践のあり方(2) 教科を越えた高校教員集団の実践」、共同、平成21年6月、大学教育学会第31回大会、首都大学東京 3. 「学習ツールとしての携帯電話の可能性を探る」、共同、平成21年9月、日本教育工学会第25回全国大会、東京大学 4. 「芸術系大学における初年次教育の取り組み(2)」、共同、平成21年9月、日本教育工学会第25回全国大会、東京大学 5. ワークショップ「アクティブ・ラーニングをデザインする」、共同、平成21年9月、初年次教育学会第2回大会、関西国際大学 6. 「様々な「文章表現」の理論・視点と「文章表現科目」設計の具体的プロセス」、共同、平成22年6月、大学教育学会第32回大会、愛媛大学 7. 「文章表現科目の担当教員を対象とした研修プログラムのデザイン」、共同、平成22年9月、初年次教育学会第3回大会、高千穂大学 8. 企画セッション・ワークショップ「文章表現科目を開設・実施するために」、共同、平成22年9月、初年次教育学会第3回大会、高千穂大学 9. 「保育者 保護者間のコミュニケーションの改善をめざした研究」、共同、平成22年9月、日本教育工学会第26回大会、金城学院大学 10. 「芸大系大学における初年次教育の取り組み(3)」、共同、平成22年9月、日本教育工学会第26回大会、金城学院大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/8)

(学会報告、学会活動 つづき)

11. 「電子書籍を利用した学びの可能性を探る」、共同、平成22年9月、日本教育工学会第26回大会、金城学院大学
12. 「京都文教大学におけるガイダンス教育」、単独、平成22年11月、大学教育学会2010年度課題研究集会、武庫川女子大学
13. 「初年次演習における先輩学生の活用」単独、平成23年9月、初年次教育学会第4回大会、久留米大学
14. 「保育者 保護者間のコミュニケーションの改善をめざした研究(2)」共同、平成23年9月、日本教育工学会第27回大会、首都大学東京
15. 「芸術大学における初年次教育の取り組み(4)」共同、平成23年9月、日本教育工学会第27回大会、首都大学東京
16. 「ケータイの特性を生かした学習」共同、平成23年9月、日本教育工学会第27回大会、首都大学東京
17. 「オピニオン・リーダーとしての上級生によるピア・サポート」、単独、平成24年5月、大学教育学会第34回大会、北海道大学
18. 「初年次教育・転換教育としての教職課程」、単独、平成24年9月、初年次教育学会第5回大会、文京学院大学
19. 「初年次教育を学生の学習スタイルから考える」、共同、平成24年9月、初年次教育学会第5回大会、文京学院大学
20. 「教職実践演習を意識したマイクロティーチング評価票の開発」、単独、平成24年9月、日本教育工学会第28回全国大会、長崎大学
21. 「社会における基礎力としてのキー・コンピテンシー」、単独、平成25年9月、初年次教育学会第6回大会、金沢工業大学

学会活動：

- 平成 9年10月 日本視聴覚・放送教育学会（現：日本教育メディア学会）誌編集委員「現在に至る」
- 平成15年 6月 大学教育学会理事「平24.5まで」
- 平成18年 6月 大学教育学会常任理事「平21.5まで」
- 平成19年 4月 大学教育学会誌編集委員「平21.8まで」
- 平成21年 4月 初年次教育学会理事「現在に至る」  
初年次教育学会 第2回大会実行委員
- 平成21年 9月 大学教育学会誌常任編集委員「現在に至る」  
大学教育学会課題研究「共通教育のデザインとマネジメント」グループ所属「平24.9まで」

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

学術講演・シンポジウム等：

1. 「マルチメディアとしての携帯電話」、平成21年5月、京都府私立中学高等学校・メディアと教育研究会、NTTdocomo関西支社
2. 「学習ツールとしての携帯電話の可能性を探る」、平成21年10月、第8回京都府私立中学高等学校教育研究大会「メディアと教育」分科会、光華中学高等学校
3. 「教育改革のための組織と大学によるFD」、平成22年3月、工学院大学
4. 「多様な学生に効果的な授業のあり方は存在するのか?」、平成22年3月、池坊短期大学
5. 「学びの環境をデザインする」、平成22年3月、帝塚山大学人間環境科学研究所
6. 「初年次教育のイメージ グループワークと転換教育」(講演) 平成22年3月、九州国際大学
7. 「なぜ、今、初年次教育なのか」(講演) 平成22年9月、明治国際医療大学
8. 「初年次教育の考え方と実現に向けたマネジメントとは」(講演) 平成22年11月、大学管理学会研究会、大阪樟蔭女子大学
9. 2010年度龍谷大学FDフォーラム「初年次教育の課題」(パネルディスカッション・モデレータ) 平成22年12月、龍谷大学
10. 「FDは本当に必要か? FDは今の形で良いのか?」(講演) 平成23年1月、京都市立芸術大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/8)

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき)

11. 「ライティング・スキル向上プログラム」(ワークショップ)、平成23年2月、九州国際大学
12. 事例発表「T・A、S・Aとして、授業をサポートする」、平成23年5月、全国私立大学教職課程連絡協議会第31回研究大会分科会「学生が主体的にかかわる教員養成をめざして」、関西学院大学
13. ラウンドテーブル「大学教育における「文章表現科目」開講の具体的プロセスと連動した担当者のFD活動の提案」、平成23年6月、大学教育学会第33回大会、桜美林大学
14. ワークショップ「文章表現科目を開設・実施するために」、平成23年9月、初年次教育学会第4回大会、久留米大学
15. 課題研究「実践的な教養教育を求めて」、平成23年11月、2011年度大学教育学会課題研究集会、山形大学
16. パネルディスカッション「初年次教育と教育方法の改善」、平成24年3月、九州工業大学教育フォーラム、アクロス福岡
17. FD研修会「ワークショップ」講師、平成24年3月、日本文理大学

コーディネータ:

1. 「2011年度教職課程運営に関する研究交流集会」、平成23年11月、全国私立大学教職課程研究連絡協議会課題研究集会、龍谷大学
2. 「ピア・サポートにおける教職課程及び教職をめざす学生の役割」、平成24年5月、全国私立大学教職課程研究連絡協議会第32回研究大会、九州産業大学
3. 「文章表現・ライティングのための授業設計ワークショップ」、平成24年9月、河合塾第1回FDセミナー、河合塾麹町校舎
4. 「高大連携をふまえたキャリア形成教育」、平成24年12月、京都高大連携研究協議会第10回高大連携教育フォーラム ディスカッションA「キャリア形成」、キャンパスプラザ京都
5. 「ピア・サポートと教職課程をつなぐ」、平成25年2月、2012年度京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会研究大会、キャンパスプラザ京都
6. 「ピア・サポートと教職課程をつなぐ」、平成25年5月、全国私立大学教職課程研究連絡協議会第33回研究大会 第9分科会、愛知大学
7. 「日本語表現科目 授業事例検討会」、平成25年9月、文章表現デザイン塾、金沢歌劇座会議室

その他:

1. ワークショップ「実際の指導を意識した授業づくり」、平成24年9月、初年次教育学会第5回大会、文京学院大学
2. 課題研究「共通教育の新段階」、平成24年11月、2012年度大学教育学会課題研究集会シンポジウム司会、島根大学
3. FD研修「4月からの初年次教育担当者ワークショップ」講師、平成25年3月、河合塾第3回FDセミナー、河合塾京都校
4. FD研修会「ワークショップ」講師、平成25年3月、九州国際大学・日本文理大学合同研修会、日本文理大学湯布院研修所
5. ワークショップ「実際の指導を意識した授業づくり」、平成25年9月、初年次教育学会第6回大会、金沢工業大学
6. FD研修「4月からの初年次教育担当者ワークショップ」講師、平成26年3月、河合塾名古屋千種校および河合塾京都校

(調査活動)

平成21年度 「初年次教育」調査、河合塾、指導助言

平成22年度 「大学のアクティブラーニング」調査、河合塾、指導助言

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

(学内活動)

平成14年 4月 特別補助申請委員会委員「平22.3まで」

平成14年10月 教職課程委員会委員長「現在に至る」

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 7/8 )

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	( 学内活動 つづき ) 平成20年 4月 FD委員会委員「平25.3まで」 共通教育委員会委員「現在に至る」 就職委員会委員「平25.3まで」 平成22年 4月 入試実行委員会委員「平24.3まで」 平成24年 4月 高大連携委員会委員「現在に至る」 就業力育成委員会委員「平25.3まで」 平成25年 4月 産学協働教育推進委員会委員「現在に至る」
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	( 自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託 ) 平成19年 4月 宇治市立北宇治中学校評議員「現在に至る」 平成19年 6月 枚方市立第四中学校評議員「現在に至る」 平成21年 4月 大阪府職業能力開発審議会委員「平22.3まで」 京都市立紫野高等学校評議員「現在に至る」 京都府キャリア教育サポーター「現在に至る」 大学コンソーシアム京都「京都学生祭典記念誌」編集委員「平22.3まで」 平成23年 4月 大学コンソーシアム京都 高大連携推進室委員「現在に至る」 平成25年 6月 大学コンソーシアム京都 大学政策委員会 第6ワーキンググループ「調査・研究機能の再構築」平26.3まで」 平成25年 7月 1. 平成25年度夏期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(中等教育)」、於:京都文教大学 2. 平成25年度夏期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(初等教育)」、於:京都文教大学 平成25年10月 1. 平成25年度秋期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(中等教育)」、於:京都文教大学 2. 平成25年度秋期教員免許状更新講習 コーディネータ及び講師、「教育の最新事情(初等教育)」、於:京都文教大学 ( 小中高との連携授業の講師 ) 平成22年 3月 「大学で取り組む初年次教育 高校と大学の接続を意識した初年次教育」( 講演 ) 於:九州国際大学 平成23年 2月 「“大学で学ぶ”とは…」( 講演 ) 京都府キャリアサポートプログラム・生徒対象、 於:京都府立加悦谷高等学校 平成23年 7月 「文系理系の考え方」( 講演 ) 京都府キャリアサポートプログラム・生徒対象、 於:京都府立東稜高等学校 平成23年 8月 「高校から大学とその先にあるもの」( 講演 ) 京都府キャリアサポートプログラム・ 生徒対象、於:京都府立桃山高等学校 平成23年10月 京都府私立中高連合会メディアと教育研究会、「携帯型マルチメディアを使った協同学習」( 講演 ) 於:同志社中学校 平成24年 1月 京都市立高等学校視聴覚教育研究会、「メディアと教育」( 講演 ) 於:京都市立日吉ヶ丘高等学校 平成24年 2月 「大学で学ぶ意義と求められる力」( 講演 ) 京都府キャリアサポートプログラム・ 生徒対象、於:京都府立加悦谷高等学校 平成24年 6月 京都府キャリア・サポーター、講演「私と社会を“むすぶ”」、於:京都府立北桑田 高等学校 平成24年 7月 京都府キャリア・サポーター、講演「文系理系の考え方」、於:京都府立東稜高等学校 平成24年10月 1. 京都府キャリア・サポーター、講演「社会に通じる人を育てる」、於:京都府立龜岡高等学校

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/8)

(小中高との連携授業の講師 つづき)

- 平成24年10月 2. 京都府キャリア・サポーター、講演「学習の “やる気” と “動機” とは」、於：京都府立西城陽高等学校
3. 京都府私立中高連合会メディアと教育分科会、講演「知識の構造化」と認知」、於：京都聖母学院中学・高等学校
- 平成24年11月 京都府キャリア・サポーター、講演「社会人基礎力とキャリア教育」、於：京都府立田辺高等学校
- 平成25年 1月 京都府キャリア・サポーター、講演「社会人基礎力とキャリア教育」、於：京都府立峰山高等学校弥栄分校
- 平成25年 9月・10月 京都府キャリア教育サポーター、講演「 “考えた事” を “ことば” にする」グループワーク「 “考えた事” を “ことば” にする パート 」、於：京都府立北桑田高等学校
- 平成25年10月 京都府私立中高連合会メディアと教育分科会、講演「ICTの活用と教育の伝統」、於：京都産業大学附属高等学校
- 平成25年11月 京都府キャリア教育サポーター、講演「 “やりたい事” から “できる事” へ」、於：京都府立城陽高等学校
- 平成26年 1月 京都府キャリア教育サポーター、講演「大学の選択と将来の自分」、於：京都府立乙訓高等学校
- 平成26年 2月 京都府キャリア教育サポーター、講演「進路選択と自分の将来」、於：京都府立東舞鶴高等学校

(自治体や企業における研修等の講師)

- 平成21年10月 「社会の一員となる基礎力」、京都府キャリア教育サポートプログラム・教員対象、於：京都府立南丹高等学校
- 平成21年11月 「やる気を育てる 勉強のやる気、子育てのやる気」、京都府キャリア教育サポートプログラム・保護者対象、於：京都府立田辺高等学校
- 平成21年12月 「文系・理系の考え方 理系の発想を楽しむ」、京都府キャリア教育サポートプログラム・生徒対象、於：京都府立東稜高等学校
- 平成21年12月-平成22年 1月 「学生を変容させる初年次教育」、河合塾(名古屋・大阪・東京)
- 平成22年 2月 「大学生になる 高校と大学をつなぐ」、京都府キャリア教育サポートプログラム・生徒対象、於：京都府立福知山高等学校
- 平成22年 6月 「学習ツールとしての携帯電話の可能性を探る(2)」、(講演) 京都府私立中学高等学校連合会メディアと情報研究会、於：パナソニックミュージアム
- 平成22年10月 「マルチメディアとしての携帯電話の可能性をさぐる」、(講演・指導助言) 第9回京都府私立中学高等学校教育研究大会「メディアと教育」分科会、於：京都外国語大学
- 平成22年12月 「情報倫理のとらえ方 世代間のズレ」、(講演) 大阪府商工労働部人権問題研修、於：大阪府庁咲洲庁舎

(その他)

- 昭和54年 4月 京都私立中高視聴覚教育研究会(現：京都私立中高メディアと教育研究会)顧問 「現在に至る」
- 昭和61年 4月 京都市立高等学校視聴覚教育研究会顧問 「現在に至る」
- 平成21年 4月 京都高大連携研究協議会・情報発信交流検討部会委員 「現在に至る」  
日本学術振興会「質の高い大学教育推進事業委員会」専門委員(書面審査委員)  
「平22.3まで」
- 平成22年 4月 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会会長 「平24.5まで」  
全国私立大学教職課程研究連絡協議会理事 「平24.5まで」
- 平成23年 6月 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 教員養成制度検討委員会委員「現在に至る」